



「かながわ 高校生チャレンジボランティア」という言葉には、どんな小さなことでもいから、社会に貢献することにチャレンジしてみようという思いが込められています。まず、自分ができる、ちょっとした活動から始めてみましょう。

高校生ボランティアセンター（愛称“friends”）の活動について

県内の高校生が集まるボランティア活動の拠点「高校生ボランティアセンター」（県生涯学習情報センター内に設置）では、毎年、高校生の企画によるボランティア活動を実施しています。今年度は48校80人の高校生スタッフが4グループ（環境、国際、青少年、福祉）に分かれて企画し、県内の高校生にも参加を呼びかけてボランティア活動を実施しました。



○環境グループは、12月12日に「落ち葉に埋もれた山下公園通りを救え」を実施。交流と山下公園通りの街路清掃を行いました。
(参加生徒の感想)「落ち葉はすごい量で苦勞したが、活動を通じてみんなの環境への意識が高まったと思います。」

○青少年グループは、11月8日に神大寺地区センター（横浜市神奈川区）で、「小学生と一緒にスポーツしよう」を実施。大縄跳びやドッジボール等で小学生と交流しました。
(参加生徒の感想)「終わりの時間になっても、小学生から『もっと遊びたい！』という声がたくさんあり、やってよかったと思いました。」

○国際グループは、12月23日に横浜市青少年交流センター（横浜市西区）で、「あつまれ！ときめき島の仲間たち世界の文化と遊びの冒険にかけよう！」を実施。世界のような遊び、衣装、楽器などを通じて小学生と交流しました。
(参加生徒の感想)「積極的な小学生たちに元気をもらい、楽しい時間を過ごすことができました。」

○福祉グループは、「You たちみんなで Discussion & お年寄りと交流しよう！」を実施。12月13日に福祉をテーマに Discussion し、また、23日には介護老人福祉施設 富岡はまかぜ（横浜市金沢区）を訪問してお年寄りと交流しました。
(参加生徒の感想)「おばあちゃんたちの笑顔がすてきでした。」



☆平成22年3月14日（日）13時30分から県生涯学習情報センター（かながわ県民センター5階）で活動発表会を開催します。詳しくは「高校生ボランティアセンター」のホームページを御覧ください。

http://www.planet.pref.kanagawa.jp/k_vol/k_vol_top.htm



わか校の地域貢献活動・ボランティア活動 第6回

子どもたちの未来を支える募金活動

県立藤沢総合高校

私たち藤沢総合高校社会福祉委員会では、毎年、学校の文化祭「^{ひすい}翡翠祭」で募金活動を行っています。

貧困に苦しむフィリピンやタイの人々の生活を支援するNPO法人「^いらねんどしっぴASIA」と連携し、昨年まではフィリピン ネグロス島の大学で漁業を学ぶ大学生の支援のために寄付してきましたが、奨学金を必要としていた学生さんが無事に大学を卒業されたので、今年は、西ネグロス州中部の最貧困地区にあるナブスワン小学校の子どもたちに学用品をプレゼントすることを目的とした募金活動を行うことにしました。

今年の翡翠祭期間中には、来校いただいた方々や本校の職員、生徒の皆さんなど、たくさんの方々に協力いただき、3万円の募金を集め、子どもたちの学用品のための補助としてフィリピンに送ることができました。

今回の活動で、勉強がしたくても、勉強がしづらい環境にあった子どもたちに、わずかながらでも手助けをすることができたのではないかと考えています。

私たち福祉委員会では、これまで福祉施設への訪問や、施設で製造した食品の翡翠祭での販売などにも取り組んできましたが、未来ある子どもたちのために、今後も、このような募金活動を続けていき、さらに新たな取組にも活動を広げていきたいと思っています。
(藤沢総合高校 3年 松井 佳奈)



フィリピン ネグロス島 ナブスワン小学校の子どもたち

